

一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟 第3回研修会（2019年度）を開催

104名が参加、心理実習・演習（大学）・心理実践実習（大学院）について検討



2019年10月27日（日）12時半～17時、ワイム貸会議室お茶の水（東京都千代田区）において、第3回研修会が開催されました。本連盟法人化後、最初の研修会であり、これまで2回実施された実習に関する研修をより深める内容となりました。

鶴会長の挨拶に続き、第Ⅰ部「公認心理師養成における実習の現状や課題の共有」では、独立行政法人国立病院機構から、松本千寿先生（同本部）他3名にご講演いただきました。壁屋康洋先生（同榊原病院、同心理療法士協議会会長）からは「国立病院機構から見た実習の現状と課題」について、前上里泰史先生（同琉球病院、同心理療法士協議会実習・カリキュラム検討WG）からは「国立病院機構各病院における実習の現状」について、古村健先生（同東尾張病院、同心理療法士協議会キャリアラダー検討WG）からは「階層別達成目標（キャリアラダー）」についてと、医療機関における実習の具体例や課題とともに、求められる心理職のあり方、心理職の職業的発達とラダーに沿った育成など、在学時の養成からその後の入職後研修までを見渡すことができる、非常に示唆に富んだ内容でした。

第Ⅱ部「実習指導者と養成機関の連携」では、保健医療分野の海野有希先生（帝京大学医学部附属病院）と花村温子先生（JCHO 埼玉メディカルセンター）、教育分野の伊藤洋子（山形大学教職研究総合センター）に、実習生を引き受ける「実習指導者」の立場からその実際をご紹介いただき、実習生を送り出す大学との連携のあり方について検討しました。実習を引き受ける機関としては、実習生を送り出す教員とのコミュニケーションを重視しており、巡回指導等の機会を利用して、これまで必ずしも十分とは言えなかった意思疎通をしっかりと図っていきたいと考えていることや、実習生に対する実習評価の活かし方などについても、議論が交わされました。

実習・演習の手引き等（2019年10月版）の公開

第Ⅲ部「実習検討チームからの最新報告」では、学部班取りまとめの宮崎昭先生（立正大学）、大学院班取りまとめの岡本祐子先生（広島大学）から、チームで作成している最新の手引き等について報告がありました。その後、小グループに分かれてのシェアリングの時間を設け、実習・演習運営の実際について検討しました。

学部班からは、大学（学部）カリキュラムの構造について共有した後、「大学の心理演習・心理実習の手引き（大学教員用）」、「公認心理師『心理演習』の手引き（大学教員用）」、「公認心理師『心理実習』（大学）実習指導マニュアル」（注：いずれも2019年10月版）が提示されました。特に、心理実習はこれから実施する大学が多く、見学中心の実習をどう組み立てれば、意味のある公認心理師養成に寄与するかについて話し合われました。

続いて、大学院班からは、「公認心理師『心理実践実習』（大学院）の手引き」（2019年10月版）の紹介と、手引き作成のプロセスで見えてきた問題と課題について、話題提供がありました。心理実践実習においては、特に、成績評価をどうするかという点が、今後の課題として共有されました。

最後に、小グループ（1テーブル3名ずつ）のシェアリングで、会員間の意見・情報交換を行いました。本研修会は、他の大学等がどのように養成・教育を進めているか、何に困っているか、それをどう解決しているか等の情報を得る貴重な機会となっています。短い時間でしたが、各テーブルで熱心な話し合いがもたれました。当日アンケートでは、このような時間をもっとゆったりととって欲しいとの声も多く、次回以降のプログラムに反映していきたいと考えています。

実習・演習の手引き等（2019年10月版）は、PDFファイルにて、希望する会員に無料配付しています。連盟ホームページの「お問合せ」フォームよりお申し込みください。



第4回研修会 2020年1月13日開催 参加申込受付中

第4回研修会(2019年度)「実習機関と養成機関の連携2」を、以下の要領にて開催します。今回も実習先施設の実習指導者等を講師に招き、実習指導者からみた公認心理師教育のあり方、現場と教育機関の連携について理解を深めます。なお、第3回研修会では、保健医療分野および教育分野の実習指導者からお話を伺いましたが、第4回研修会ではこれに加えて、福祉分野と司法・犯罪分野、計4分野での実習についてお話いただきます。

内容の詳細はホームページをご覧ください。

- 日時** 2020年1月13日(月・祝) 13時~17時(受付開始12時15分)
- 場所** 京都府民総合交流プラザ 京都テルサ 東館3階大会議室(B,C会議室)
〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町70
- 内容** **第I部 実習指導者と養成機関の連携**
坂井 新 先生 (医療法人遊心会 にじクリニック)
阪口 裕樹 先生 (なごや子ども応援委員会 スクールカウンセラー)
樋口 亜瑞佐 先生 (愛知教育大学・児童看護施設 和敬学園)
高橋 智晃 先生 (福岡矯正管区)
- 第II部 実習検討チームからの最新報告**
宮崎 昭 先生 (立正大学・実習検討チーム学部班取りまとめ)
岡本 祐子 先生 (広島大学・実習検討チーム大学院班取りまとめ)
シェアリング (小グループでの意見・情報交換)

参加資格: 日本公認心理師養成機関連盟会員(正会員機関関係者・個人賛助会員・団体賛助会員関係者)
正会員機関関係者(正会員機関の教職員および実習先関係者)は1機関あたり5名まで、個人賛助会員はご本人のみ、団体賛助会員関係者は1団体あたり1名までご参加いただけます。
研修会開催日以前に入会申し込みをして入会承認前の場合も、「入会予定者」としてご参加いただけます。
定員96名(申込先着順)

参加費: 1人2,000円(当日受付時に徴収致します)

参加申込: 連盟ホームページの「研修会等」フォームよりお申し込みください。

申込期限: 2020年1月8日(火)17時

法務省福岡矯正管区より、
公認心理師養成に係る
心理実習及び心理実践実習科目受付
の案内が届きました。

実習受入れの詳細は、連盟ホームページの「お知らせ」をご覧ください。

大学・大学院における
国家資格 公認心理師養成に係る
実習受入れ中

受入れ可能な施設(候補機関)
○国は平成30年度に受入れ実績があった施設

【少年鑑別所】	【少年院】	【刑務施設】
福岡少年鑑別所	福岡少年院	北九州刑務所
小倉少年鑑別所	佐賀少年院	福岡刑務所
佐賀少年鑑別所	佐賀少年院	福岡刑務所
熊本少年鑑別所	熊本少年院	熊本刑務所
大分少年鑑別所	大分少年院	大分刑務所
宮崎少年鑑別所	宮崎少年院	宮崎刑務所
鹿児島少年鑑別所	鹿児島少年院	鹿児島刑務所
那覇少年鑑別所	那覇少年院	那覇刑務所

実務経験プログラム実施中
全国の少年鑑別所及び刑務施設は、公認心理師法第7条第2号に規定される施設として認定されています。
実務経験プログラムの対象である法務教官(心理)は、国家公務員採用試験により採用を行っています。

お問い合わせ先: 福岡矯正管区
092-661-1137

公認心理師の職能団体 一般社団法人 日本公認心理師協会 入会手続き中

一般社団法人日本公認心理師協会(JACPP)は、これまでの臨床心理士等の心理職の実績や経験を活かした公認心理師の職能団体で、本連盟の団体賛助会員でもあります。

ホームページにおいて、入会手続きが可能です。入会金1万円が全額無料の期間が、**2020年3月まで延長**されました。ぜひご入会ください。

<http://jacpp.or.jp/>



当連盟へのご入会受け付け中

10月27日時点で、正会員は139機関となりました。

引き続き、公認心理師養成を行っている諸機関(大学・大学院等)の正会員、また、個人賛助会員、団体賛助会員のご入会を受け付けています。

ご入会は、ホームページの「入会申込」フォームからお手続きください。

予告! 正会員対象ウェブ調査の実施

2020年1月に、正会員を対象としたウェブ調査を実施します。

大学ないしは大学院で何校が公認心理師の養成カリキュラムを開始しているかを把握することを目的とした調査です。回答時間は5分程度ですので、全正会員にご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

詳細は、正会員宛のメールにて、1月にご連絡致します。

一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟

事務局 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-2-14-414

お問い合わせは、連盟ホームページ「お問い合わせ」フォームからお願いします

E-mail: kouninshinrishikou@yahoo.co.jp

<https://psychologyteacher.jimdo.com/>